

日本古代資料学演習

選択 2単位

相澤 央

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代史のさまざまな資料について、それぞれの資料的特質に応じた調査分析の方法、史料読解の仕方などについて学ぶ。編纂史料(六国史など)、古記録(日記など)、古文書(正倉院文書など)、出土文字資料(木簡など)など、古代史の資料を全般的に広く扱う。受講者は割り振られた資料についての報告を行い、それを基にして質疑・討論を行う。

2. 授業の到達目標

- ①日本古代史の資料について、それぞれの資料的特質に応じた調査分析の方法、資料読解の仕方を体得する。
- ②体得した知識・技術を、受講者自身の専門研究に活用できるようにする。

3. 成績評価の方法および基準

授業内での報告(30%)、レポート(70%)で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキスト:使用しない。適宜、資料プリントを配布する。

参考文献

歴史学研究会編 『日本史史料1古代』(2005年) 岩波書店

5. 準備学修の内容

予習・復習を必ず行うこと。

6. その他履修上の注意事項

関連する文献・資料を積極的に読み、理解を深めること。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の内容、進め方などについてのガイダンス(オンライン授業)
- 【第2回】 編纂史料の読解①六国史を読む
- 【第3回】 編纂史料の読解②『令義解』を読む
- 【第4回】 編纂史料の読解③『類聚三代格』を読む
- 【第5回】 編纂史料の読解④『延喜式』を読む
- 【第6回】 古記録の読解①貴族の日記を読む(その1)
- 【第7回】 古記録の読解②貴族の日記を読む(その2)
- 【第8回】 古記録の読解③儀式書を読む
- 【第9回】 古文書の読解①箱帳を読む
- 【第10回】 古文書の読解②太政官符を読む
- 【第11回】 古文書の読解③売券を読む
- 【第12回】 出土文字資料の読解①木簡を読む
- 【第13回】 出土文字資料の読解②漆紙文書を読む
- 【第14回】 出土文字資料の読解③墨書土器を読む
- 【第15回】 授業のまとめ(オンライン授業)